



キャリアーガス切換え装置 (CGS-1050Ex)

(空気雰囲気での酸化・燃焼による発生ガス分析などに便利です)

熱分解ガスクロマトグラフィー(Py-GC)における、熱分解雰囲気ガス(キャリアーガス)は、一般にHeなどの不活性ガスが用いられていますが、最近、環境汚染防止対策などの研究のために、空気をキャリアーガスとして用いたときの熱分解生成ガスを分析することが多くなっております。既存の装置でも、原理的にはキャリアーガスに空気を使用することは可能ですが、専門的な知識と慎重な装置の改造が要求されます。この装置は、Heガスと空気などのキャリアーガスを本装置に常時接続することで、そのガスの相互切換えを可能にしました。

3つの特長

- 本装置とPy-GCとの組み合わせにより、各種キャリアーガス中における高分子材料の瞬間熱分解や、1050°Cまでの昇温加熱過程における熱分解生成ガスを分析することができます。
昇温可能な多機能パイロライザーを用いて、さまざまな加熱条件の選択ができます。さらに選択的試料導入装置との併用により、各種キャリアーガスをを用いた任意加熱区間の発生ガスを、GCカラムに選択的に導入することが可能です。
- 瞬時のキャリアーガスの切り換えが可能です。
このシステムは電磁弁を用いており、しかも死空間が0.5 ml以下の流路構成となっています。
- 誤動作防止機構を採用しました。

パイロライザーを使用しないときは、反応性のガスがGCへ流入しないように、パネルスイッチの誤動作を防止する機構を組み込んでいます。

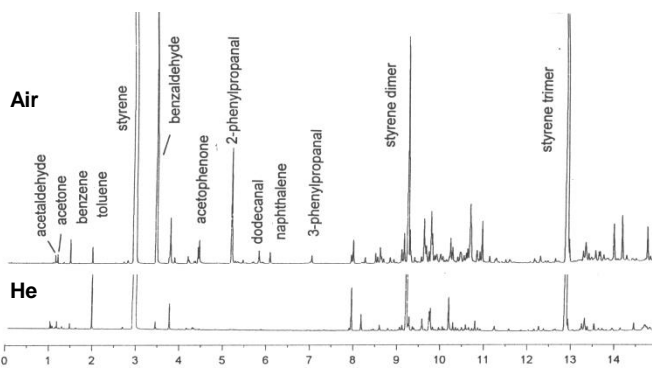
仕様

- ◇ 二つのキャリアーガスの接続ポートを装備
(一つはHeなどの不活性ガス用で、もう一方はAir, O₂, H₂, CH₄などの各種雰囲気ガスを接続します。)
- ◇ 使用中のキャリアーガス表示 : ON/OFFランプ点灯による表示
- ◇ キャリアーガスの切換え : パイロライザー(EGA/PY-3030D)制御ソフトウェアによる自動切換え、または、切換えスイッチによる手動流路切換え(PY-2020iDIによる自動制御はできません)
- ◇ 電源 : AC100V, 15W
- ◇ 適用機種 : Agilent社製GC、島津社製 GC-2030, 2010, 17A (適用不可GCもありますので、ご相談ください)

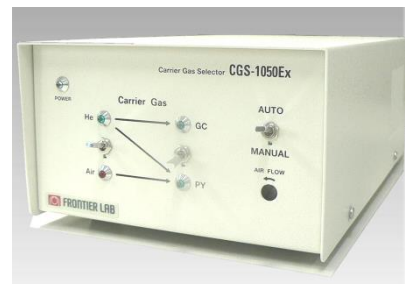
据付け

- ◇ お客様で容易に据付けが可能です。

ポリスチレンのHeと空気中(燃焼ガス)での測定例(550°C)



キャリアーガス切換え装置の外観 (CGS-1050Ex)



フロンティア・ラボ株式会社

〒963-8862 福島県郡山市菜根 4-16-20
TEL:(024) 935-5100 FAX:(024) 935-5102
www.frontier-lab.com/jp

外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。